



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3036 URL http://www.alconix.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹井 正人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画 (氏名) 手代木 洋 TEL 03-3596-7400  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	152,455	△13.2	3,910	△3.4	4,142	△4.4	1,781	△45.2
2020年3月期第3四半期	175,574	△10.3	4,048	△18.1	4,335	△14.0	3,253	△9.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,129百万円 ( △4.2%) 2020年3月期第3四半期 3,266百万円 ( 42.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	70.62	—
2020年3月期第3四半期	128.81	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	139,060	41,613	29.5
2020年3月期	134,463	41,277	30.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 41,044百万円 2020年3月期 40,481百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2021年3月期	—	21.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△18.2	4,500	△13.1	4,600	△15.1	2,400	△33.7	95.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	25,943,100株	2020年3月期	25,915,700株
2021年3月期3Q	907,207株	2020年3月期	272,071株
2021年3月期3Q	25,231,349株	2020年3月期3Q	25,256,909株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界の経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による一時的な景気減速から世界的に経済活動が再開したことにより景気が持ち直し、米国及び中国においては政府主導の景気刺激対策により堅調に推移いたしました。一方、欧州においては新型コロナウイルスの再拡大による経済活動の抑制が続く等、依然として先行き不透明な状況が継続いたしました。

我が国の経済は、世界的な経済活動の再開を受けて、個人消費、生産及び輸出が急速に回復いたしました。企業収益全般においては本格的な回復には至りませんでした。

当社グループを取巻く業界は、自動車関連においては電装化、軽量化、自動運転技術に関係する素材並びに部品需要の多様化が著しく、また新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に落ち込んだ自動車販売が急速に回復したことで自動車関連部材の需要が増加いたしました。一方、半導体・電子部品関連では、IoT、AI等におけるデータ通信量の増加や自動車の電装化進行、次世代通信規格（5G）の本格稼働により市場が拡大し、さらにオンラインでの経済活動の広がりやリモートワークの浸透を背景にIT機器、半導体関連部材の需要が高水準で推移いたしました。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、半導体、情報通信関連向け需要の増加により半導体製造装置向け等の金属加工部材の出荷が堅調に推移した他、商社流通においてもスマートフォン等IT機器向け電子・電池材料の取扱いが前年同期に比べ増加いたしました。また国内外の自動車向け需要の急速な回復に伴い、金属精密プレス部品、小型モーター向けカーボンブラシ等の製品出荷、及び商社流通における非鉄原料、アルミ圧延品並びに伸銅品等の取扱いが増加いたしました。当第3四半期連結累計期間開始当初の自動車関連需要の落ち込みの影響が残り前年同期水準には及びませんでした。利益面においては前年同期に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により電子機能材における利益は改善いたしました。上記の減収要因の他、当社連結子会社における不適切な会計処理についての損失並びに関連会社株式の売却に伴う関係会社株式売却損を計上したことにより営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高152,455百万円（前年同期比13.2%減少）、営業利益3,910百万円（同3.4%減少）、経常利益4,142百万円（同4.4%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,781百万円（同45.2%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

#### ・商社流通－電子機能材事業

スマートフォン・タブレット端末向け部材は、新型コロナウイルス感染症の世界的な影響による取引先での在庫調整が終了したことを受け、前年同期に比べ売上、利益は共に増加いたしました。また、二次電池関連部材並びに環境関連部材の需要においても新型コロナウイルス感染症の影響による落ち込みが第1四半期連結会計期間以降は急速に回復、リモート・テレワーク需要を取り込み、売上・利益ともに増加となりました。チタン・ニッケル製品の欧州向け輸出取引は新型コロナウイルス感染症の影響により売上、利益とも減少いたしました。

レアメタル・レアアースについては磁性材向けレアアースの取引が増加いたしました。タングステン等のレアメタルは当第3四半期連結累計期間開始当初の自動車関連需要の一時的な落ち込みの影響が残り、前年同期に比べ減少いたしました。

なお、電子材料を中心とした取扱いの回復、及び前年同期に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により、セグメント利益は大きく改善いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は44,481百万円（前年同期比19.1%減少）、セグメント利益は1,315百万円（同861.9%増加）となりました。

#### ・商社流通－アルミ銅事業

製品分野においては、新型コロナウイルス感染症の影響により大型ビル向け業務用空調機器等建築関連部材の荷動きは依然として低調でありました。一方、電装化・軽量化が著しい自動車関連では中国を中心に生産が急速に回復し、また巣籠もり消費の増加、リモートワーク並びに次世代通信規格（5G）の拡大を背景としたパソコン、タブレット等向け半導体需要も伸長したことから、それぞれの関連部材の取扱いは改善に向かうものの前年同期に及びませんでした。

原料分野においては、当第3四半期連結累計期間にアルミ・銅市況は上昇し、また新型コロナウイルス感染症拡大により一時的に落ち込んだ自動車関連需要が急速に回復したため、主力のアルミスクラップ並びにアルミ再生塊の取扱いは改善いたしました。一方、銅屑、及び鉛地金等の取扱いは前年同期に比べ増加いたしました。

なお、利益面においては減収に加えて当社連結子会社における不適切な会計処理についての損失を計上したことによりセグメント利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は77,267百万円（同14.7%減少）、セグメント利益は448百万円（同26.2%減少）となりました。

・製造－装置材料事業

めっき材料は米国拠点で新型コロナウイルスの影響により自動車向けを中心に出荷が落ち込みましたが、中国拠点においては好調な中国経済の恩恵を受け、自動車並びに半導体関連向けの出荷が前年同期に比べ増加いたしました。また、非破壊検査及びマーキングはプラント、エネルギー関連向けで大型非破壊検査装置の出荷等が増加し売上に貢献いたしました。一方、ブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品、小型モーター向けカーボンブラシ、及び溶接材料は国内外の自動車需要が急速に回復し出荷は改善したものの、当第3四半期連結累計期間開始当初の一時的な落ち込みが影響し前年同期に比べ減少となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は17,699百万円（同6.2%減少）、セグメント利益は24百万円（同89.6%減少）となりました。

・製造－金属加工事業

半導体実装装置向け精密研削加工部品は半導体需要の拡大により実装装置需要自体は底堅く推移するものの当第3四半期連結累計期間においては一部の部材における生産調整等の影響を受け、出荷は前年同期に比べ減少いたしました。また精密切削加工部品においては次世代通信規格（5G）の本格化やリモートワークの拡大に伴う情報通信関連機器並びに半導体需要の増加等により、半導体製造装置向け切削加工部品の出荷が前年同期に比べ増加いたしました。精密金属プレス部品は、新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に落ち込んだ自動車需要が当第3四半期連結累計期間において急速に回復し、出荷が増加いたしました。前年同期水準には及びませんでした。また、メキシコ事業においても事業立上げフェーズに伴う支出が先行したため収益を圧迫いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は15,909百万円（同4.9%減少）、セグメント利益は2,359百万円（同29.4%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

a. 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は98,361百万円であり、前連結会計年度末比2,935百万円の増加となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金の増加875百万円、現金及び預金の増加4,318百万円、並びにたな卸資産の減少2,938百万円であります。

b. 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は40,698百万円であり、前連結会計年度末比1,661百万円の増加となりました。主な内訳は、株式会社富士根産業の連結取込み及び設備投資に伴う有形固定資産の増加1,813百万円、無形固定資産の償却による減少681百万円、及び投資その他の資産の増加528百万円であります。

c. 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は69,549百万円であり、前連結会計年度末比4,016百万円の増加となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金の減少308百万円、短期借入金の増加893百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加1,050百万円、及びコマーシャル・ペーパーの増加2,999百万円であります。

d. 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は27,897百万円であり、前連結会計年度末比244百万円の増加となりました。主な内訳は長期借入金の減少21百万円、役員退職慰労引当金の減少254百万円、長期未払金の減少163百万円、及び社債の増加100百万円であります。

e. 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は41,613百万円であり、前連結会計年度末比335百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加15百万円、その他有価証券評価差額金の増加1,897百万円、為替換算調整勘定の減少419百万円、及び自己株式の取得による減少800百万円であります。

## ②経営成績

## a. 売上高

売上高はグループ全体で減収となりました。取扱品並びに製品別で見ると、商社流通では、スマートフォン・タブレット端末向け電池・電子材料、電池用鉛地金、磁性材向けレアアースの取扱いが前年同期に比べて増加いたしました。アルミ圧延品、伸銅品、アルミ再生塊、チタン展伸材の輸出入取引、及びアルミスクラップ等の非鉄原料の取扱いは減少いたしました。

製造では通信、IT向け精密切削加工部品、非破壊検査・マーキング並びに試験機器関連で装置の出荷が前年同期に比べ増加いたしました。半導体実装装置向け研削加工部品、金属精密プレス部品、めっき材料、小型モーター向けカーボンブラシ、カシュー樹脂製品、及び溶接材料の出荷は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比13.2%減少の152,455百万円となりました。

## b. 売上総利益

グループ全体での減収に伴う減益、及び当社連結子会社における不適切な会計処理に起因する損失があったものの、半導体・IT関連での需要増加により電子材料関連、製造における収益改善、及び前年度に計上したレアメタルのたな卸資産評価損が概ね解消されたこと等により、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比4.9%減少の13,270百万円となりました。

## c. 販売費及び一般管理費

新型コロナウイルス感染症の影響で主に旅費交通費等の費消が削減され、連結子会社におけるコスト低減効果等により、当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比5.5%減少の9,360百万円となりました。

## d. 営業利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比3.4%減少の3,910百万円となりました。

## e. 営業外収益、営業外費用

受取配当金、及び持分法による投資利益の減少等により、営業外収支（営業外収益－営業外費用）は232百万円の収入超となりました（前年同期は286百万円の収入超）。

## f. 経常利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比4.4%減少の4,142百万円となりました。

## g. 特別利益、特別損失

製造子会社2社の株式取得に伴う負ののれん発生益及び助成金収入等の特別利益125百万円を計上する一方、持分法適用関連会社株式の売却に伴う関係会社株式売却損等の特別損失823百万円を計上いたしました。

## h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益3,444百万円から、法人税等1,618百万円、連結子会社9社における非支配株主に帰属する四半期純利益44百万円を差引き、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比45.2%減少の1,781百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2020年10月27日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想を変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,754	27,072
受取手形及び売掛金	44,162	45,037
商品及び製品	20,810	17,966
仕掛品	3,353	3,131
原材料及び貯蔵品	1,936	2,063
その他	3,031	3,714
貸倒引当金	△622	△625
流動資産合計	95,426	98,361
固定資産		
有形固定資産	20,905	22,719
無形固定資産		
のれん	3,120	2,720
その他	3,576	3,296
無形固定資産合計	6,697	6,016
投資その他の資産	11,433	11,962
固定資産合計	39,036	40,698
資産合計	134,463	139,060
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,920	30,611
短期借入金	24,782	25,675
コマーシャル・ペーパー	—	2,999
1年内返済予定の長期借入金	4,027	5,078
1年内償還予定の社債	149	149
未払法人税等	1,056	741
賞与引当金	968	572
その他	3,627	3,720
流動負債合計	65,533	69,549
固定負債		
社債	375	475
長期借入金	22,313	22,291
役員退職慰労引当金	780	526
退職給付に係る負債	821	916
長期未払金	338	174
その他	3,023	3,511
固定負債合計	27,652	27,897
負債合計	93,185	97,447

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,989	3,006
資本剰余金	2,401	2,416
利益剰余金	33,258	33,273
自己株式	△329	△1,129
株主資本合計	38,320	37,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	2,088
繰延ヘッジ損益	103	△58
為替換算調整勘定	1,865	1,446
その他の包括利益累計額合計	2,161	3,476
新株予約権	34	48
非支配株主持分	761	520
純資産合計	41,277	41,613
負債純資産合計	134,463	139,060



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	175,574	152,455
売上原価	161,617	139,185
売上総利益	13,956	13,270
販売費及び一般管理費	9,907	9,360
営業利益	4,048	3,910
営業外収益		
受取利息	86	46
仕入割引	14	10
受取配当金	373	264
不動産賃貸収入	60	59
持分法による投資利益	235	122
屑売却益	154	27
雇用調整助成金等	—	120
その他	180	165
営業外収益合計	1,104	816
営業外費用		
支払利息	531	356
売上割引	4	2
為替差損	172	29
手形売却損	18	14
不動産賃貸原価	12	12
その他	77	167
営業外費用合計	817	583
経常利益	4,335	4,142
特別利益		
固定資産売却益	6	4
新株予約権戻入益	0	0
投資有価証券売却益	0	0
負ののれん発生益	—	82
関係会社株式売却益	422	—
関係会社清算益	36	—
助成金収入	3	37
補助金収入	9	—
その他	0	—
特別利益合計	476	125
特別損失		
固定資産売却損	3	1
固定資産除却損	14	12
投資有価証券売却損	—	18
投資有価証券評価損	—	31
関係会社株式売却損	—	759
関係会社株式評価損	17	—
その他	—	0
特別損失合計	35	823
税金等調整前四半期純利益	4,776	3,444
法人税等	1,509	1,618
四半期純利益	3,267	1,826
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,253	1,781

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,267	1,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	910	1,887
繰延ヘッジ損益	21	△163
為替換算調整勘定	△872	△448
持分法適用会社に対する持分相当額	△61	27
その他の包括利益合計	△0	1,303
四半期包括利益	3,266	3,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,200	3,096
非支配株主に係る四半期包括利益	66	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の当社グループに与える影響等を含む仮定について重要な変更はありません。

ただし、新型コロナウイルス感染症による経済への影響が深刻化した場合には、会計上の見積りの前提が大きく乖離する可能性があります。

(連結子会社による不適切な会計処理)

当社連結子会社における不適切な会計処理について、2021年2月1日付で特別調査委員会より「調査報告書」を受領いたしました。

本件不適切な会計処理の累積影響額については、当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書に一括計上しております。その結果、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が250百万円減少しております。

また(セグメント情報等)において、当該累積影響額を「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」の「アルミ銅」事業に一括計上しております。その結果、「アルミ銅」事業のセグメント利益が250百万円減少しております。

## (セグメント情報)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	52,730	87,480	18,774	16,589	175,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,226	3,057	85	144	5,514
計	54,957	90,537	18,859	16,733	181,088
セグメント利益	136	607	233	3,342	4,320

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,320
セグメント間取引消去	15
四半期連結損益計算書の経常利益	4,335

## II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	42,339	76,736	17,549	15,830	152,455
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,141	531	149	79	2,901
計	44,481	77,267	17,699	15,909	155,357
セグメント利益	1,315	448	24	2,359	4,147

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、株式会社富士根産業の株式を92.0%追加取得し、同社及び同社子会社であるFUJINE INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD. を新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の末日の報告セグメントの資産の金額は、「金属加工」セグメントにおいて3,472百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,147
セグメント間取引消去	△4
四半期連結損益計算書の経常利益	4,142

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報(重要な負ののれん発生益)

「装置材料」セグメントにおいて、当社の連結子会社であるマークテック株式会社が、新たに株式を取得したため株式会社ニコスを連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、19百万円であります。

「金属加工」セグメントにおいて、株式会社富士根産業の株式を92.0%追加取得し、同社及び同社子会社であるFUJINE INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、63百万円であります。